

学校は地域の宝 小さな学校は教育の宝

学校統廃合計画の問題点についてお知らせします。



学校統廃合計画とんでもない！

福山市教育委員会

(以下、市教委)は20

15年、小学校6校・

中学校3校の統廃合

計画を発表しました。

すべての対象地域

で、署名提出など学校

存続を求める運動が広がりましたが、市教

委は強引に計画を進めようとしています。

声

「一人ひとりを大切にしてくれる
今の学校を残して」
「学校は地域の宝。なくせば町が
なくなる」
「市長の車座トーク」参加者の声

再編対象校と適正化の方策

再編対象校	再編後の学校の位置
東村小学校	今津小学校
山野小学校	加茂小学校
広瀬小学校	服部小学校
内浦小学校	千年小学校
内海小学校	加茂中学校
山野中学校	千年中学校
広瀬中学校	
内海中学校	

福山市学校規模・学校配置の適正化計画（第1要件）を転載

Q 反対しても仕方ない？

A いいえ、住民合意のない統廃合は許されません！

国

2015年、文科省は学校統廃合の新たな「手引」を策定し、先の「通達」を廃止しましたが、その原則は「引き継いでいく」と国会で答弁しています。 ※2015年3月27日、衆院文部科学委員会

通達

73年、当時の文部省は、「学校規模を重視する余り」無理な学校統合や地域住民との争いを起こさないよう求める「通達」を出しました。小規模校の利点や地域における学校の意義を尊重することも求めています。

市

市教委は2015年12月9日の市議会で、「手引」に従い取り組みを進めている」と答弁しました。保護者・住民合意のない統廃合の強行は、決して許されません。

手引

「手引」は、「行政が一方的に進める性格のものではない」として、「児童生徒の保護者や…就学前の子供の保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得るなど『地域とともにある学校づくり』の視点を踏まえた丁寧な議論を」と求めています。

さらに突然の大再編

さらに今年、常石・能登原小学校を加えた沼隈・内海町の7校を統合し、施設一体型の義務教育学校「(仮)千年小中一貫教育校」を作ると発表しました。これまでの計画に「理解は得られていない」と市教委も認めながら、新たな計画をスケジュールありきで進めるのは、あまりにも一方的なやり方です。



2022年に現千年中の場所に開校をめざすとする

(仮)千年小中一貫教育校

義務教育学校って何!?

2016年に制度化された「義務教育学校」は、小学校6年・中学校3年の区切りをなくし、9年間を一体とした独自の教育課程を認めています。国会審議では、教員の多忙化、独自教科の創設や学習の前倒しによる詰め込み教育の恐れ、転校の難しさなど様々な課題が指摘されました。小学生最高学年のリーダーシップが育成されにくいなど、教育学・心理学的な面からも懸念の声があがっています。義務教育学校「千年小中一貫教育校」ができれば、6歳から15歳までの770人(見込)が、同じ学校施設・教職員体制のもとで学ぶこととなります。大規模化を招く義務教育学校を、拙速に導入すべきではありません。



◀裏面もご覧ください。

ご意見・ご要望をお寄せください 電話・FAX 084-922-2815

日本共産党 福山市議会報告

発行：日本共産党福山市議会議員団 広島県福山市霞町3丁目4-25-401

2017年秋号 info@f-jcp.com

日本共産党福山市議会

検索

※2016年11月23日、東村学校再編に係る地域説明会にて